

ホーム狭く、転落の危険性も



発行所

名古屋中学・高校新聞部
名古屋市中区砂田橋2丁目1番58号
TEL 052-721-5271



砂田橋駅構内 狭い所は気を付けないと危険

砂田橋駅 深刻化する歩きスマホ

塩田駅長「本当に止めて欲しい」

砂田橋駅のホームは狭く、転落の危険性が高い為、歩きスマホは自主的に止めて欲しいと駅長の塩田裕章さんは訴えている。歩きスマホによる衝突事故を駅長室に訴えるに際して乗客は後を絶たない。一方で駅員は歩きスマホを強く規制する権限が無く、対策に悩まされているというのだ。

2月6日、僕達は歩きスマホが深刻化している砂田橋駅に実態を知るべく取材を試み、駅長の塩田さんにお話を伺った。

Q歩きスマホに対する対策を教えてください。
A僕たちはマナー放送などで注意していますが、それ以外は方法がありません。僕たちは警察でもあり

Q歩きスマホに対する対策を教えてください。
A僕たちはマナー放送などで注意していますが、それ以外は方法がありません。僕たちは警察でもあり



塩田・特に当駅のホームは狭く、転落の危険性が高いため、とても心配です。更に、今までに歩きスマホをしてる人につかかった事を訴えてきた人が何人もいました。実際には報告がされた事以上に衝突は起こっていると思います。ただ結局は歩きスマホをしている

Q歩きスマホによる事故や危険性を教えてください。
A僕たちはマナー放送などで注意していますが、それ以外は方法がありません。僕たちは警察でもあり

Q本校生徒に歩きスマホに対する一言をお願いします。
A歩きスマホの普及で歩きスマホは年々増えてきており、どの時間帯でも見かけるようになりました。やはり学校の登下校時は特に学生が多いです。本当に止めて欲しいです。是非、名古屋中学・高校の皆さんにはこの事実をしっかり知り、歩きスマホを止めて欲しいです。

Q歩きスマホによる事故や危険性を教えてください。
A僕たちはマナー放送などで注意していますが、それ以外は方法がありません。僕たちは警察でもあり

Qその他気になる事柄はありますか？
Aホームでのペットボトル・空き缶のポイ捨てです。数年前に、砂田橋駅ではテロ防止のためにホームのゴミ箱を全て無くしました。現在ゴミ箱が置いてあるのは改札口の直ぐ側のみです。ですので、改札口の側の自動販売機で飲料を購入し、ホームで飲んでポイ捨てをする人が増えていきました。しかし、それらは駅員が片付けなくてはならなくなり、たいへん迷惑します。ペットボトルや空き缶は改札口のゴミ箱に捨てるか持ち帰るなどし、放置するのはやめて欲しいです。

Q歩きスマホによる事故や危険性を教えてください。
A僕たちはマナー放送などで注意していますが、それ以外は方法がありません。僕たちは警察でもあり

このコーナーでは、社会と関わりをもっている名中高生にその思いを語ってもらいます。第3回は2Cの太田匠君です。



太田匠さん(2C)

社会とつながる

活動には責任が伴うし、期待に応えたいという重圧を感じることもあります。逆にそれがやりがいにつながるのだと思います。

Qボランティア活動の意義とは何だと思えますか？
Aボランティアは無償の善意なので強制はできません。ただ、善意が働かないと社会はうまく回っていかないと考えます。その手助けにつながる活動の意義があるのではないかと思います。

Qボランティアに興味をもつたきっかけは？
A小学校のころからボイスカウトをやっていて、募金や施設訪問などを通じて、社会に奉仕することに興味をもちました。

QJRCでは具体的にどのような活動をしていますか？
Aあしなが育英会や赤い羽根共同募金の呼びかけ、サフラン生活園やジョイフル砂田橋、康陽(老人ホーム)への訪問のほか、献血、矢田川清掃、東区のボランティアネットワークと共同で災害復旧ボランティア活動、減災チームと一緒に避難所体験活動もやりました。ほかにも文化祭ではフェアトレード商品を販売したり、献血車を呼ぶ活動もしました。

Q名中・名高生に一言
ぜひ「食わず嫌い」にならないでほしいです。ボランティアに対し、最初から敬遠するのではなく、少しでも目を向けてもらえれば、私たちの活動の目的も達せられるのではないかと思います。ボランティア活動について知ってもらって、その上で賛同して頂ければありがたいと思います。

◆活動をしてよかったこと、苦労したことは？
活動には責任が伴うし、期待に応えたいという重圧を感じることもあります。逆にそれがやりがいにつながるのだと思います。

◆今後どのような活動をしていきたいですか？
活動には責任が伴うし、期待に応えたいという重圧を感じることもあります。逆にそれがやりがいにつながるのだと思います。

◆ボランティアは無償の善意なので強制はできません。ただ、善意が働かないと社会はうまく回っていかないと考えます。その手助けにつながる活動の意義があるのではないかと思います。

◆小学校のころからボイスカウトをやっていて、募金や施設訪問などを通じて、社会に奉仕することに興味をもちました。

◆あしなが育英会や赤い羽根共同募金の呼びかけ、サフラン生活園やジョイフル砂田橋、康陽(老人ホーム)への訪問のほか、献血、矢田川清掃、東区のボランティアネットワークと共同で災害復旧ボランティア活動、減災チームと一緒に避難所体験活動もやりました。ほかにも文化祭ではフェアトレード商品を販売したり、献血車を呼ぶ活動もしました。

◆ぜひ「食わず嫌い」にならないでほしいです。ボランティアに対し、最初から敬遠するのではなく、少しでも目を向けてもらえれば、私たちの活動の目的も達せられるのではないかと思います。ボランティア活動について知ってもらって、その上で賛同して頂ければありがたいと思います。

【生活指導部による歩きスマホ調査】

- ・日時：2018年1月11日(木) 15:00頃
- ・場所：砂田橋駅3番出口通路
- ・通行生徒：約197名

左側通行生徒：166名(84%)
 教員に気づいて右から左へ移動した生徒：19名(10%)
 右側を通行し続けた生徒：12名(6%)
 歩きながらスマートフォンを操作し続けた生徒：22名(11%)